

NY マーケットレポート (2017 年 5 月 1 日)

NY 市場では、欧州主要市場が休場だったこともあり、序盤は小動きの展開で始まった。そして、米個人所得・個人支出、PCE デフレーター、ISM 製造業景況指数などの主要な経済指標が軒並み市場予想を下回るさえない結果となったことを受けて、ドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。その後は、ムニューシン米財務長官が、「超長期債が米国にとり非常に合理的」と発言したことから、米債券利回りが上昇となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

ただ、FOMC や米雇用統計の発表を控えて、積極的な売買がやや手控えられていたこともあり、終盤まで上値の重い動きが続いた。

2017年 5月 1日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.84	111.92	111.21
EUR/JPY	121.82	121.90	121.31
GBP/JPY	144.47	144.60	143.82
AUD/JPY	83.87	83.88	83.24
EUR/USD	1.0890	1.0911	1.0884

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.89	111.67
EUR/JPY	121.92	121.72
GBP/JPY	144.63	144.26
AUD/JPY	84.03	83.86
EUR/USD	1.0906	1.0890

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.83	111.93	111.43
EUR/JPY	121.90	122.10	121.71
GBP/JPY	144.14	144.50	144.05
AUD/JPY	84.16	84.27	83.99
NZD/JPY	77.21	77.31	76.91
EUR/USD	1.0898	1.0924	1.0896
AUD/USD	0.7526	0.7540	0.7523

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20913.46	-27.05
S&P500	2388.33	+4.13
NASDAQ	6091.60	+44.00
日経225 (CME)	19345	+130
トロント総合	15575.63	-10.50
ボルサ指数	休 場	
ボエスパ指数	休 場	

*メキシコ、ブラジル市場はメーデーで休場

5/2 経済指標スケジュール

08:50 【日本】3月日銀金融政策決定会合・議事要旨
 08:50 【日本】4月マネタリーベース
 10:45 【中国】4月財新メディア製造業PMI
 13:30 【オーストラリア】豪中銀政策金利発表
 16:30 ～ 17:30
 【スイス】【仏】【独】【英】4月製造業PMI
 【欧州】3月失業率
 18:00 【南アフリカ】4月Naamsa自動車販売(時間不確定)
 22:00 【シンガポール】4月購買部景気指数
 22:00 【シンガポール】4月電子産業指数
 02:00 【メキシコ】IMEF製造業指数
 02:00 【メキシコ】IMEF非製造業指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1255.50	-12.80
NY 原油	48.84	-0.49
CME コーン	377.50	+11.00
CBOT 大豆	970.25	+14.00

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.274%	1.262%
3年債	1.462%	1.440%
5年債	1.839%	1.813%
7年債	2.126%	2.096%
10年債	2.318%	2.282%
30年債	3.002%	2.952%

ドイツ10年債	休 場	0.317%
英国 10年債	休 場	1.085%

*ドイツ市場はメーデー、英国市場はメイバンクホリデーで休場

5/2 主要会議・講演・その他予定

・FOMC(連邦公開市場委員会 ～3日)

NY 市場レポート

英国市場はアーリーメイバンクホリデー、ドイツ、フランス市場はメーデーで休場

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月米個人所得（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.3%）

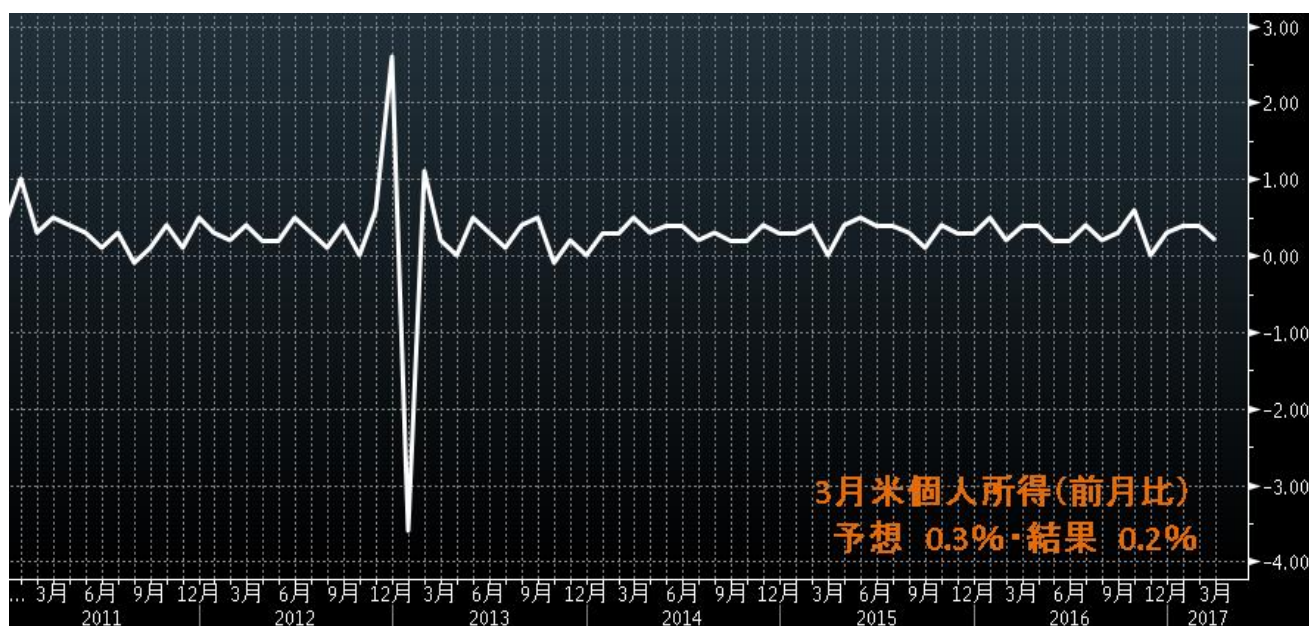
前回発表の 0.4%から 0.3%に修正

3 月米個人支出（前月比） 0.0%（予想 0.2%・前回 0.0%）

前回発表の 0.1%から 0.0%に修正

3 月米 PCE デフレーター（前年比） 1.8%（予想 1.9%・前回 2.1%）

3 月米 PCE コア・デフレーター（前年比） 1.6%（予想 1.6%・前回 1.8%）



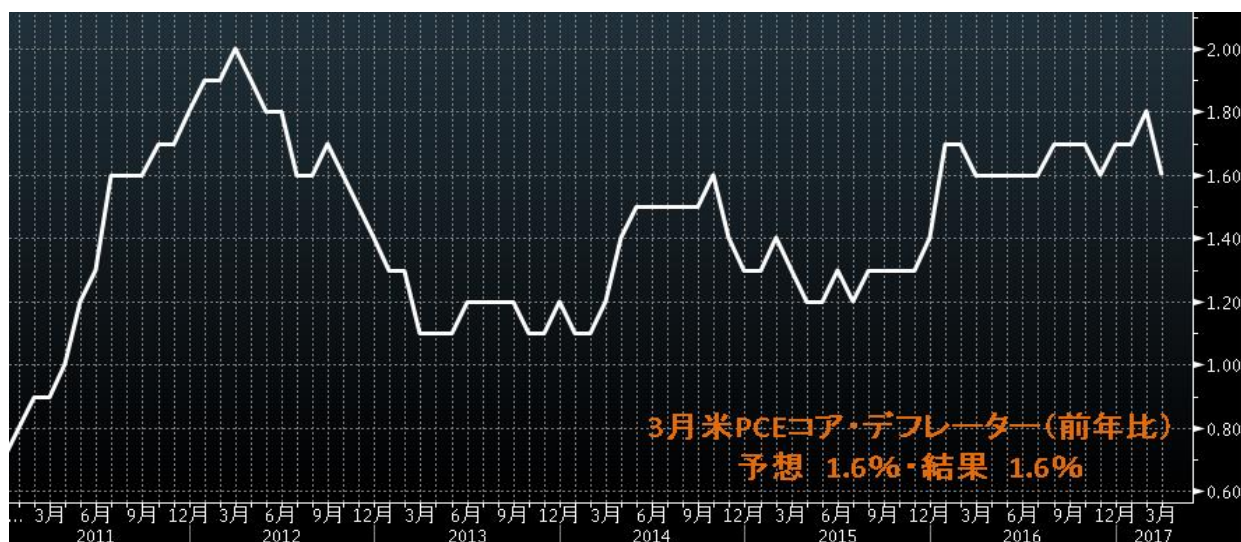
出所：Bloomberg



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米個人所得・支出》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
個人所得	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2	0.4
賃金・給与	0.1	0.5	0.4	0.3	0.2	0.3
可処分所得	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4
個人消費支出	0.0	0.0	0.2	0.6	0.3	0.5
個人貯蓄率	5.9	5.7	5.4	5.2	5.5	5.6

3月の米個人所得・消費統計では、個人消費支出が市場予想の+0.2%を下回り、前月比横ばいとなった。一方、個人所得は市場予想の+0.3%を下回る+0.2%となったものの、13カ月連続で増加した。

①個人消費では、耐久財が前月比-1.4%と2カ月ぶりのマイナス、非耐久財は-0.3%と2カ月連続の減少、サービスは+0.4%だった。

②税金の支払いを除いた可処分所得は+0.2%、貯蓄率は前月から0.2ポイント上昇の5.9%となった。

③個人消費支出（PCE）物価指数は、前月比で-0.2%と昨年2月以来のマイナスとなり、変動の激しい食品とエネルギーを除いたPCEコア物価指数も前月比で-0.1%となり、2001年9月以来のマイナスとなった。一方、米FRBが金融政策の目安とする前年比では+1.8%、コア物価指数は前年比+1.6%となり、FRBが目標とする+2.0%を下回る結果となった。

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

4月マークイット米国製造業 PMI 52.8 (予想 52.8・前回 52.8)

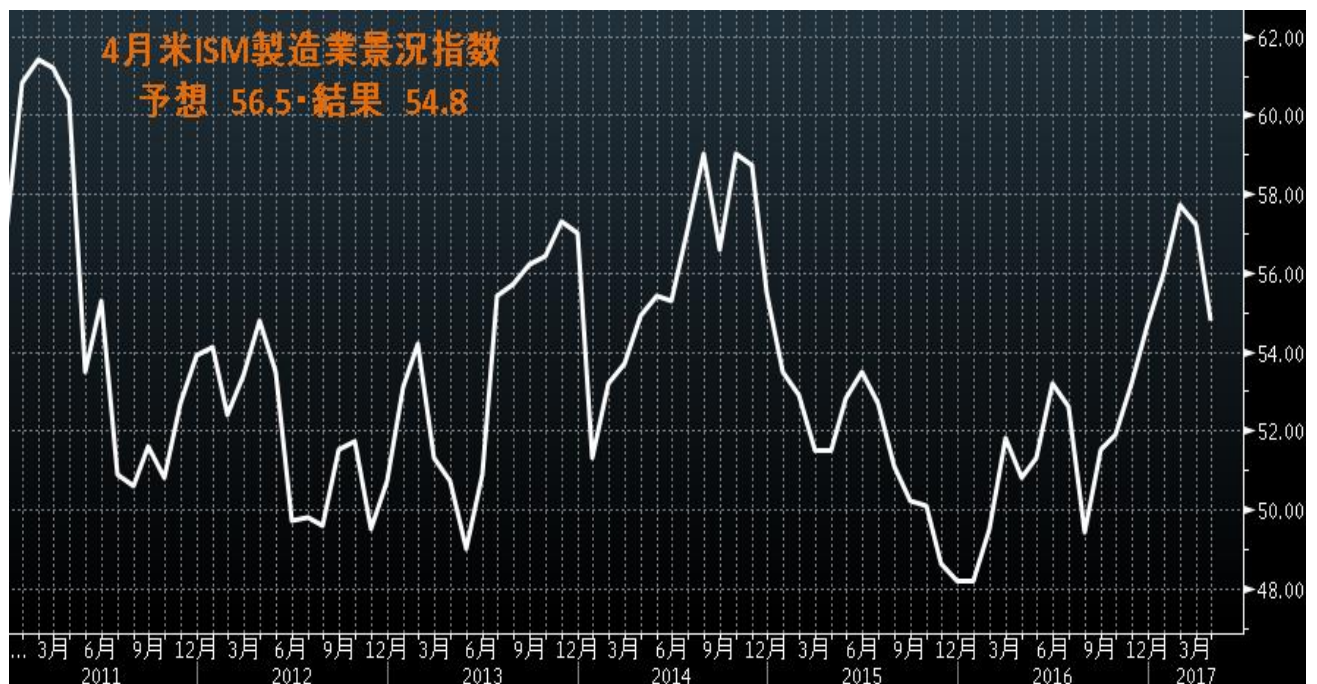


出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月米ISM製造業景況指数 54.8 (予想 56.5・前回 57.2)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

＜米 ISM 製造業景況指数＞

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
景気	54.8	57.2	57.7	56.0	54.5	53.5
価格	68.5	70.5	68.0	69.0	65.5	54.5
生産	58.6	57.6	62.9	61.4	59.4	55.6
新規受注	57.5	64.5	65.1	60.4	60.3	54.8
受注残	57.0	57.5	57.0	49.5	49.0	49.0
入荷遅延	55.1	55.9	54.8	53.6	53.0	55.5
在庫	51.0	49.0	51.5	48.5	47.0	49.0
雇用	52.0	58.9	54.2	56.1	52.8	52.5

4月の米 ISM 製造業景況指数は、市場予想を下回り、2ヵ月連続の低下となり、昨年12月以来の低水準となった。昨年9月から今年2月まで6ヵ月連続で上昇となった堅調な流れが失速した。関連指数では、仕入れ価格が68.5（前回70.5）、受注残が⇒57.0（57.5）、顧客在庫が45.5（47.0）、新規受注が57.5（64.5）と昨年11月以来の低水準、雇用が52.0（58.9）と昨年10月以来の低水準となった。一方、生産は58.6（57.6）、在庫は51.0（49.0）と前月から上昇。また、輸出が59.5（59.0）、輸入が55.5（53.5）と共に上昇している。

23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

3月米建設支出（前月比） -0.2%（予想 0.4%・前回 1.8%）

前回発表の0.8%から1.8%に修正



出所：Bloomberg

3月の米建設支出は、年率換算で前月比-0.2%の1兆2182億8500万ドルとなり、3ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では+3.6%だった。民間住宅は引き続き増加傾向だったが、民間の住宅以外や公共部門の建設がマイナスとなったことが影響した。

①2月の建設支出は、年率換算で1兆2207億3500万ドルに上方修正され、これまで最高だった2006年2月の支出高を上回り、過去最高となった。

②民間の建設支出は、前月比横ばいの9402億1000万ドルとなり、金額ベースでは2006年3月以来の高水準、前年同月比では+7.0%だった。住宅建設が前月比+1.2%の5034億2500万ドルと2007年6月以来の高水準、前年比では+7.5%。住宅以外の建設は、前月比-1.3%の4367億8500万ドル、前年比では+6.4%だった。

③公共部門の建設支出は、前月比-0.9%の2780億7500万ドルで2ヵ月ぶりのマイナスとなり、前年比では-6.5%。州・地方政府が前月比-1.4%、連邦政府は+4.5%だった。

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、米政府機関の閉鎖が回避される見通しになったことを背景に、主要株価は買いが先行した。ただ、その後は米 ISM 製造業景況指数が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、上げ幅を縮小する動きとなり、ダウ平均株価はマイナス圏に落ち込んでいる。

0 : 15

◀ 要人発言 ▶

ムニューシン米財務長官

- ・「現在、最も重要なことは経済成長」
- ・「税制改革案、簡素化と個人所得税引き下げに注力」
- ・「税制改革、共和党議員の間で 80% 合意」
- ・「インフラ投資の財源を負債でまかなうことは望まない」

- ・「中国が自国通貨を操作していたことは疑問の余地がない」
- ・「為替に関する中国の最近の動きは米経済に恩恵」
- ・「超長期債の発行は、米国にとって合理的となり得る」

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米 FOMC や雇用統計発表などを週内に控えて、持ち高調整の売りが先行した。ただ、3 月の米個人所得・消費統計や ISM 製造業景況指数が軒並み市場予想より悪い内容だったことから逃避買いも入り、下げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.98% (前週末 2.96%)、10 年債が 2.31% (2.29%)、7 年債が 2.12% (2.10%)、5 年債が 1.84% (1.82%)、3 年債が 1.46% (1.45%)、2 年債が 1.28% (1.27%)。

フランス大統領選挙世論調査 (オピニオンウェイ) ~ 決戦投票

マクロン前経済相は 61% (26 日時点 59%)、ルペン国民戦線 (FN) 党首は 39% (41%)

英国総選挙 (6 月 8 日) の政党支持率 (4 月 28 日現在)

保守党 44% (4 月 26 日時点 45%)、労働党 31% (29%)、自由民主党 11% (10%)、英国独立党 6% (7%)、緑の党 2% (3%)、スコットランド民族党 4% (5%)。

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前週末比 12.80 ドル安の 1 オンス=1255.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米政府機関の閉鎖が回避される見通しになったことで投資家のリスク志向が戻り、比較的安全な資産とされる金売る動きが優勢となった。ただ、米経済指標が低調だったことから、買い戻しが入る場面もあった。終値ベースでは、4 月 10 日以来、3 週間ぶりの安値水準となった。

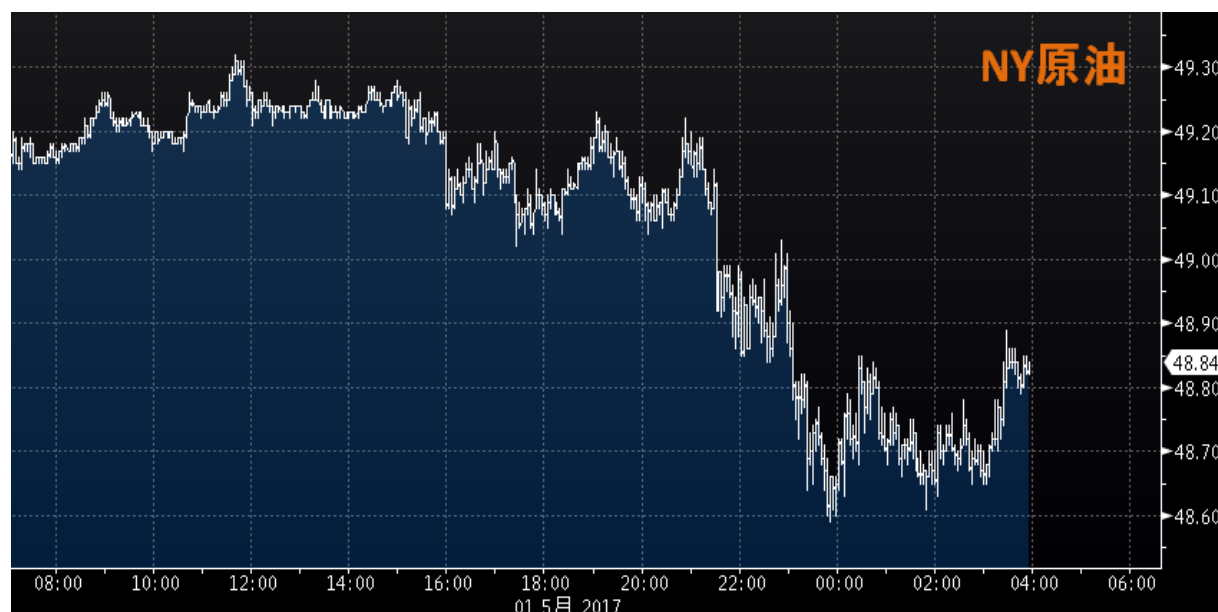


出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.49 ドル安の 1 バレル=48.84 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、リビア産原油の供給拡大への警戒感に加え、前週末に発表された米国の石油掘削装置の稼働数が増加したことも売り材料となった。また、中国や米国の景況感を示す指標がいずれも低調だったことで、世界のエネルギー需要に対する懸念も圧迫要因となった。終値ベースでは、3 月下旬以来約 1 ヶ月ぶりの安値となった。

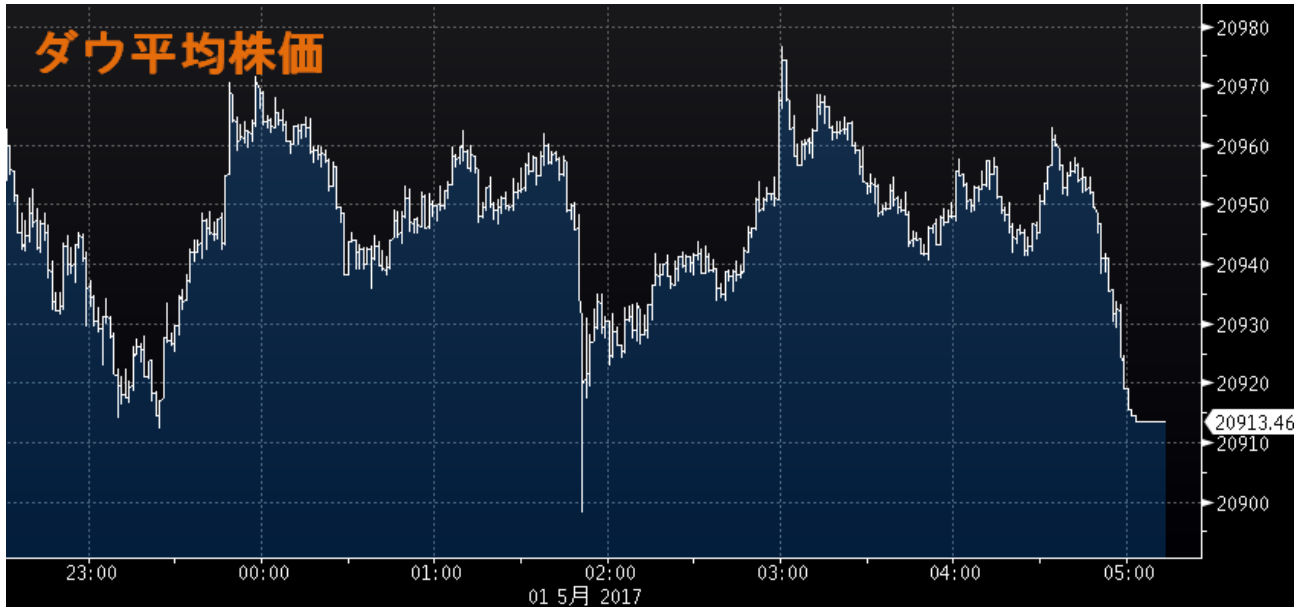


出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米政府機関の閉鎖が回避される見通しになったことを背景に、主要株価は買いが先行した。ただ、その後は米 ISM 製造業景況指数が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、上値の重い動きとなった。

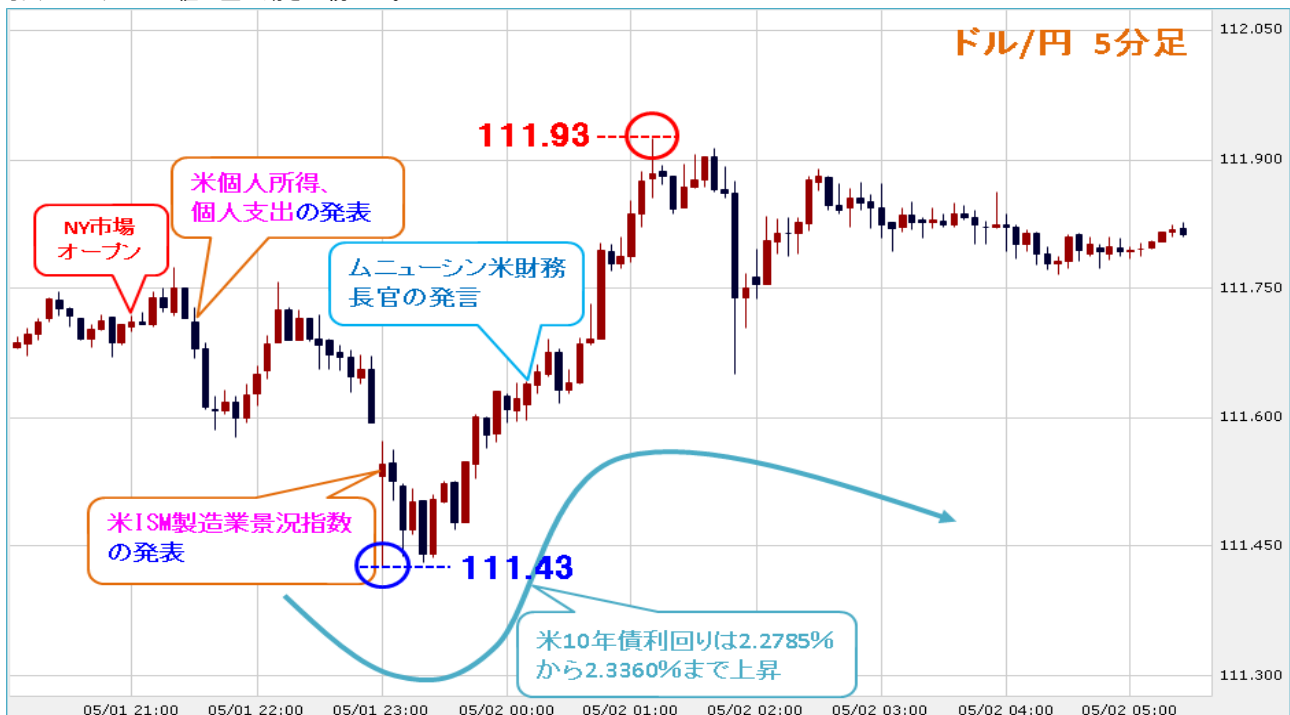
ダウ平均株価は、序盤から上値の重い動きが続いたものの、ハイテク中心のナスダックは堅調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が軒並み市場予想を下回るさえない結果が続いたことを受けて、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。その後は、米債券利回りが上昇したことを受けてドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、引けにかけては上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。